市民講座

高齢者の健康増進と個別化医療の実現にむけて

2013年9月15日（日） 午後2時半～午後４時

西条図書館 2階会議室

〒793-0030 愛媛県西条市大町1590番地

講演者（敬称略）：

久保充明（理化学研究所　統合生命医科学研究センター）

石川智久（理化学研究所　ライフサイエンス技術基盤研究センター）

宮田 満　（日経BP社　特命編集委員）

内容：

- 高齢化社会における健康増進の重要性
- 地域医療ネットワーク
- 個別化医療による薬物副作用の回避
- 疾患リスクの解明と治療
- 個別化医療に向けた新しい取り組み
- 市民・病院・クリニック・薬局の地域連携

講演聴講：　参加費　無料　　事前の参加登録は不要

主催：西条図書館、オミックス医療研究会

後援：独立行政法人理化学研究所・横浜事業所、西条市医師会、新居浜市医師会

お問い合わせ先：

〒793-0030 愛媛県西条市大町1590 西条図書館　電話（0897)56-2668

講演者の略歴

久保充明　理化学研究所　統合生命医科学研究センター

1988 年九州大学医学部卒、同年同大第二内科に入局。松山赤十字病院腎センターなどを経て、1995 年より疫学研究で有名な久山町研究に従事。2003 年東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター客員研究員、2006 年理化学研究所ゲノム医科学研究センター・グループディレクターを経て、センター長代行を務めた。2013 年４月から統合生命医科学研究センターの副センター長。久保研究チームは、Multiplex PCR 法とインベーダー法を併用したハイスループットの SNP タイピングシステムを確立し、これまでに日本人の SNP データベース（JSNP データベース）の構築、国際ハップマッププロジェクトへの参加により SNP を用いた疾患関連遺伝子研究の推進に貢献してきた。個別化医療・個別化予防の実現に向けて、ヒトのゲノムを解析する基盤を構築するとともに、がん・循環器疾患・糖尿病等の疾患の発症・予後や、薬剤反応性に関わる遺伝・環境要因を網羅的に解析し、医療への応用のための技術開発研究を推進している。遺伝子タイピング技術の開発や臨床の現場に SNP 情報を応用するための技術開発なども積極的に推進している。

石川智久　理化学研究所　ライフサイエンス技術基盤研究センター

1982 年 北海道大学大学院理学研究科博士課程を修了して理学博士を取得。ドイツ学術交流会の奨学金生として西ドイツ(当時)に渡り 1987 年まで５年間ドイツ Düsseldorf 大学医学部博士研究員を務めた。 1987 年～1989 年　大阪大学医学部 生化学教室助手、1989 年～1991 年ドイツ癌研究所　腫瘍生化学部門 プロジェクトリーダー、1991 年～1995 年テキサス大学 M.D.アンダーソン癌センター助教授を務めた。1995 年～2000 年ファイザー製薬の主任研究員、室長を経て部長に就任。2000 年～2009 年東京工業大学 大学院生命理工学研究科 教授を務めて、2009 年から理化学研究所オミックス基盤研究領域およびライフサイエンス技術基盤センターの上級研究員。2012 年から理研創薬・医療技術基盤プログラム・テーマリーダーと横浜市立大学 大学院医学研究科 客員教授を兼任。国際トランスポーター・コンソーシアムを設立。ヒト ABC トランスポーター遺伝子の国際命名委員会メンバー。2015 年 Gordon 会議“Multi-Drug Efflux Systems”の大会長。ファーマコゲノミクスの社会への実用化をめざす。

宮田満　日経 BP 社　特命編集委員

1977 年東京大学理学系大学院植物学修士課程修了。1979 年日本経済新聞社入社。1985 年日経バイオテク編集長に就任。1996 年医療局ニュースセンター長、2000 年バイオセンター長、2001 年慶應大学 先端生命科学研究所 客員教授、2003 年先端技術情報センター長等に就任して、2004 年医療局バイオセンター長を兼務。バイオ産業人会議バイオ産業技術戦略委員、新エネルギー・産業技術総合開発機構「バイオテクノロジー技術審議会」委員、科学技術庁資源調査会専門委員、厚生省「創薬ビジョン検討委員会」委員、厚生省「創薬ビジョン検討委員会」委員、科学技術会議ライフサイエンス部会、ライフサイエンス基本計画分科会委員、農水省「イネ・ゲノム計画第２期」評価委員、農水省「21 世紀グリーンフロンティア研究」評価委員、医薬品機構「ミレニアムプロジェクト」審査委員などとして幅広く公的活動を行っている。